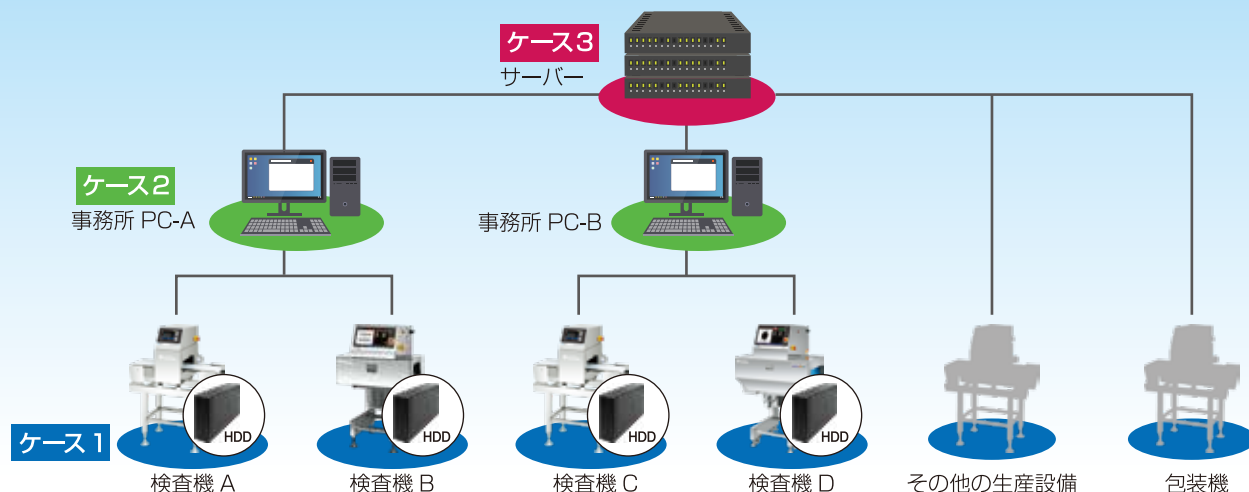


ICT Hawk

柔軟にトレーサビリティシステム構築が可能！
お客様の課題・ニーズに合わせた使用方法を可能にしました。



現状の課題

- ①すぐに検査履歴が見たい。 → ケース1
- ②1年分の履歴を保存したい。 → ケース1
- ③事務所からすべての検査データを見たい。 → ケース2
- ④現在使っているシステムで検査装置のデータを使用したい。 → ケース3

ケース1 大量の検査データをシンプルに活用可能

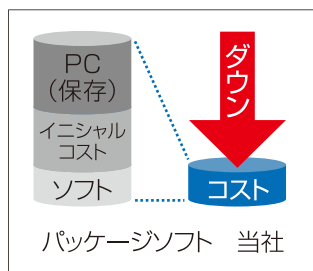
保存と検索が可能になり、シンプルにデータ運用することができます。
検査装置に USB 接続のハードディスク (HDD) を搭載することでデータを保存します。
HDD を取り外し、事務所の PC でデータの検索や閲覧をすることが可能です。
この方法では直接 HDD に保存するため、面倒な IP アドレスの管理が不要です。



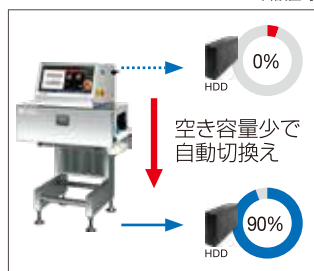
特長

- ・専用 PC、専用ソフト、LAN 配線不要
- ・必要な時に検索できる (HDD2台設置時)
- ・ライン変更、機器移設時も複雑な設定は不要
- ・生産量に合わせて HDD 容量を選定することで、長期保存に対応

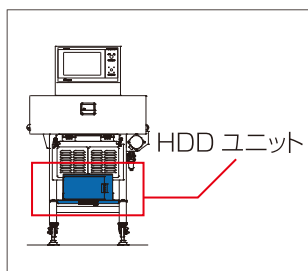
低コスト



保存先自動切換え※HDD2台設置時



コンパクト設置



データは自動でフォルダ分類



型式	トレーサビリティサポート ケース1
対象機器	金属検出機、X線検査機、オートチェッカー、かみこみX線検査機、かみこみ検査機
保存項目	検査日付、時刻、品種、判定結果、画像（X線検査機）
保存期間	0~24ヶ月で任意設定（生産量に合わせたHDD容量が必要となります）
使用環境	温度0~35℃、湿度30~85%、結露しないこと（フィルター定期清掃要）

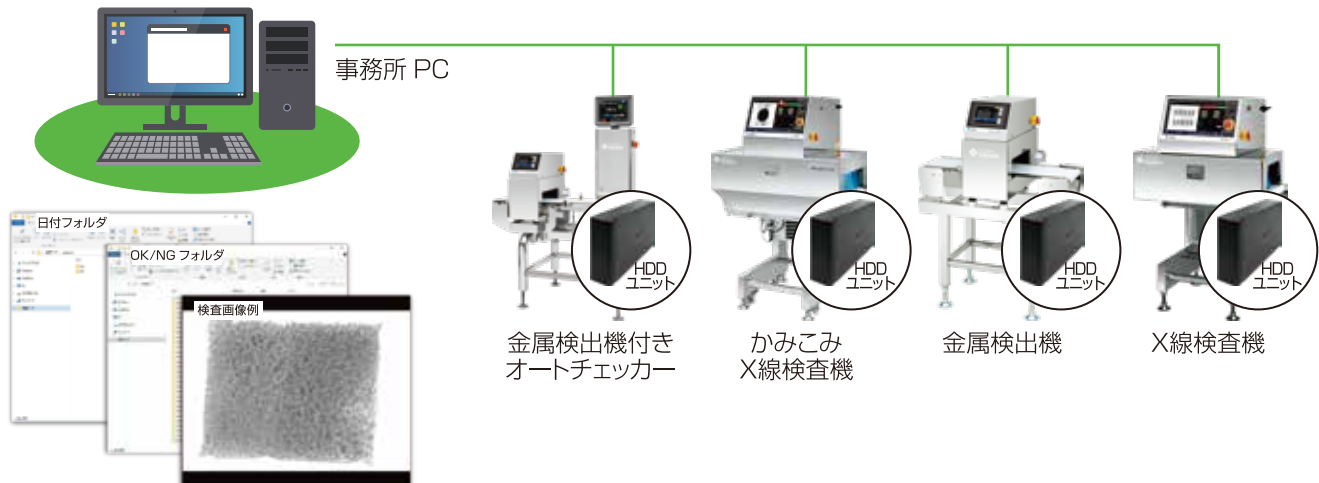
※検査内容によって変わります。詳しくはお問合せ下さい。

※設置場所の室温の変動が大きい、多湿である、検査物が冷たい、もしくは熱いなどの場合には、別途オプションが必要になります。

ケース2 事務所から履歴データの一元管理が可能

ケース1の内容に加えてネットワーク構築を行います。

専用PCを事務所に設置し、各装置とLANケーブルで接続することで、複数の検査装置のデータを事務所で閲覧することが可能になります。専用アプリで履歴データや検査画像を検索し閲覧することで、より効率的な履歴管理が実現します。



ケース3 包装設備を含めた生産データを一括管理可能

ケース1・ケース2の内容に加えてお客様が既に使用している上位システムとの連携を図ります。

これにより検査装置以外の包装設備全般のデータを一括で管理し、生産改善のために利用が可能（IoT）になります。

また、すでにご利用中の上位システムにデータを供給し、他の装置と合わせての管理を実現いたします。

（上位システムの提供は弊社ではできませんが、システムベンダーのご紹介は可能です）

このカタログの記載内容は2025年12月31日時点のものです。改良の為、記載事項はおことわりなしに変更することがあります。また一部画像にはイメージが含まれます。